

このみちは...

笠間市片庭と岩瀬町飯田を結ぶこのコースは、仏頂山を中心とする豊かな自然に恵まれた山間部と山麓のどかな田園地帯をめぐる延長約11kmの健脚向けの歩道です。

標蔵寺 臨濟宗妙心寺派の寺で、宋の千岩が開山し、室町時代に笠間と笠間時朝が中興し、以来笠間城主の菩提寺となりました。木造十一面千手観音立像と山門が国の重要文化財に指定されており、千手観音立像は、高さ2mのヒノキ材寄せ木造りの仏像で、新島の4月8日に開帳されます。境内から離れて参道上に立っている山門の優美な姿も印象的です。また、寺の裏山はヒメハルゼミの発生地として国の天然記念物に指定されています。

仏頂山

笠間市と栃木県茂木町の県境に位置する山で、標高430.9m。カシ、シイ、サカキなどの暖帯性植物の分布北限に近い地域として植物学的に注目されている山です。木もれ日を浴びながら、すがすがしい森の空気を胸いっぱい吸い込めば、心も体もリフレッシュできます。

五大力量

五大力量は、平安時代平将門の乱の際、後藤太藤原秀郷が霊像5体を安置して将門討伐を祈ったが討伐後に将門の善心を知りその霊を慰めたところと言われています。

桜川の桜

古くから花見の名所として知られ、国の天然記念物にも指定されており、1,000本以上の桜が咲き誇る光景はまさに春らんまんと言えます。「桜川」という川の名も毎年春になると桜の花びらが川面に浮かぶことから名づけられたそうです

月山寺

延暦15年(796年)徳一大師が法相宗の寺として開き、その後天台宗に改められたと伝えられています。国の重要文化財の網代笠をはじめとして、木造薬師如来像など多くの県指定文化財があり、本堂・山門から庭園に至るまで歴史の風格を感じさせる見事なたたずまいです。

交通機関

- ▲ JR水戸線笠間駅 笠間市福祉バス 15分 片庭バス停
- ▲ JR水戸線岩瀬駅 タクシー 10分 旧飯田局バス停

行事

- 桜まつり(岩瀬町磯部) 4月中旬から下旬
- つつじまつり(笠間市つつじ公園) 4月中旬～5月上旬
- 随炎祭(笠間芸術の森公園) 5月連休
- 菊まつり(笠間稲荷神社) 10月中旬から11月下旬
- 匠のまつり・いばらきストーンフェスティバル(笠間芸術の森公園) 11月上旬

連絡コースの案内

連絡コースは標識等を設けておらず、また自動車などの交通量も多いので、接続するコースに移動する場合は注意して下さい。

- 片庭バス停 — 笠間市福祉バス 10分 — 焼物とお稲荷さんへのみち

みどころ



標蔵寺山門

桜川の桜

五大力量

茨城県の路線概要

- 自然林を歩くみち
- 関東ふれあいのみち



楽しいハイキングのために

- 野の花や木は、自然の中でこそ美しいのです。自然のままに残しましょう。
- 歩きながらの「タバコ」はやめましょう。火の元には十分注意しましょう。
- あとから来る人のために、自分のゴミは自分で持ち帰りましょう。
- 案内板や標識はみんなの道しるべです。大切にしましょう。
- 交通の不便なところがありますから、あらかじめよく調べておきましょう。

お問い合わせは

茨城県生活環境部環境政策課

〒310-8555 水戸市笠原町978-6 ☎029-301-2946

笠間市役所環境課

〒309-1698 笠間市石井717 ☎0296-72-1111

岩瀬町役場環境整備課

〒309-1292 西茨城郡岩瀬町岩瀬64-2 ☎0296-75-3111



首都圏自然歩道

関東ふれあいの道

茨城県 5

自然林を歩くみち

片庭バス停～南飯田



仏頂山を望む

関東ふれあいの道は、

首都圏に残された美しい自然や歴史的文化的遺産などを“みち”で結び、首都圏を一周する長距離自然歩道です。

茨城県内のルートは、御前山村から、御前山、笠間県立自然公園、水郷筑波国定公園や筑波研究学園都市を経て東町へ至る延長約255kmで、

18のコースにより構成されています。

家族や友人と一緒に歩きましょう。



茨城県